

全産業の業況判断は、足元悪化、先行き改善見通し ～2期ぶりに悪化～

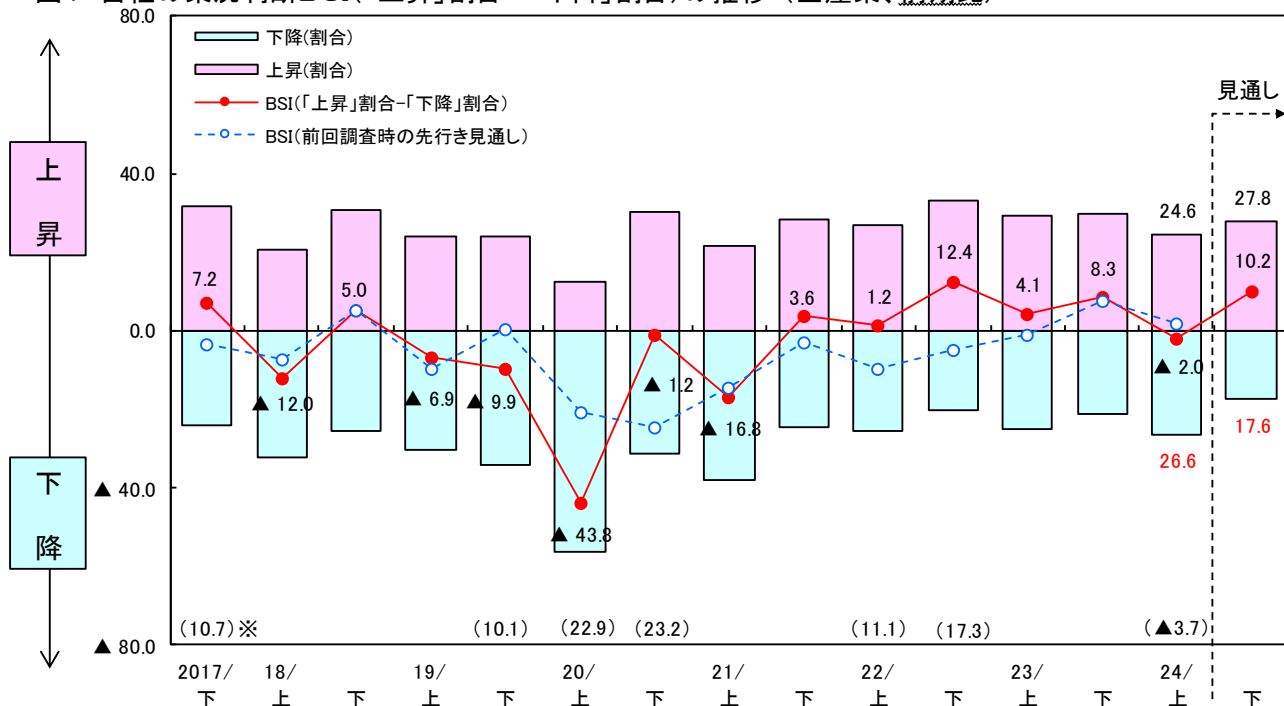
【特別調査】 『2024年度賃上げ結果』(速報)

当行では、このほど山陰地方の最近の企業動向を把握するため、鳥取・島根両県内の主要企業・事業所に対し、アンケート調査を実施した（調査要領は3頁参照）。

調査結果によると、'24年度上期^{注1}における自社の業況判断BSI^{注2、3}は、全産業で2期ぶりに悪化した。

また、先行き（'24年度下期）については、全産業で改善する見通しとなった。

図1 自社の業況判断BSI(「上昇」割合-「下降」割合)の推移（全産業、前期比）



※グラフ下部の()内の数値は、「前回調査時点の先行き見通しBSI」と「実績BSI」の差を示している(ただし、乖離幅 10 ポイント以上の調査期と今回調査実績のみ記載)。

注1: 上期は4月～9月、下期は10月～翌年3月。

注2: BSI (ビジネス・サーベイ・インデックス)とは、景気の先行き見通し等に対する経営者の観測をまとめて指標化したもの。BSI=X-Y(X=上昇(増加)等と回答した企業の割合、Y=下降(減少)等と回答した企業の割合)。判断基準については、業況判断は前期(半年前)との比較、それ以外は前年同期(1年前)との比較によっている。

注3: BSIの算出については、山陰両県の企業ベースでの産業構成を考慮するため、総務省「平成28年経済センサス(活動調査)」、「令和3年経済センサス(活動調査)」を基に産業別の構成比を算出・ウエイト付けし、加重平均したものを使用している。

'17/下～'20/下 [ウエイト] 全産業:100.0、製造業: 8.6、建設業:12.4、卸売業: 9.6、小売業:23.2、サービス業:46.3

'21/上～ [ウエイト] 全産業:100.0、製造業: 7.0、建設業:11.1、卸売業: 6.3、小売業:22.0、サービス業:53.6

I. 調査結果の概要

【個別項目】

1. 自社の業況判断 全産業で、足元悪化、先行きは改善見通し
2. 売上高判断 全産業で、足元改善するものの、先行きは悪化見通し
3. 価格判断 全産業で、足元、仕入価格は低下、販売価格は上昇、先行きはいずれも低下見通し
4. 在庫判断 全産業で、足元過剰感は強まるものの、先行きは緩和見通し
5. 経費判断 全産業で、足元減少、先行きも減少見通し
6. 経常利益判断 全産業で、足元改善するものの、先行きは悪化見通し
7. 資金繰り判断 全産業で、足元悪化、先行きも悪化見通し
8. 設備投資(除く電力) '24年度設備投資額(実績・計画)は、前年度比7.2%減少
9. 雇用 全産業で、足元不足感が弱まるものの、年度末に向けてはやや強まる見通し
10. 経営上の問題点 全産業で「原材料価格の上昇」が最多

【特別調査】

2024年度賃上げ結果調査(速報)

～「防衛的賃上げ」と「ベースアップの実績は上振れ」～

山陰企業の足元('24年度上期)の業況感は、全産業で2期ぶりに悪化した(8.3→▲2.0)。製造業は、需要の回復が緩慢であることなどを背景に、「鉄鋼・金属」、「一般機械等」のほか、「食料品」などで悪化し、全体でも悪化となった(3.6→▲10.3)。また、非製造業でも、上期の前半は所得環境の改善が鈍かったことや物価の高止まりなどを背景に「百貨店・スーパー」、「石油燃料小売」のほか、「情報通信」などで悪化し、全体でも悪化となった(8.6→▲1.2)。

先行き('24年度下期)は、全産業で改善する見通しとなった(▲2.0→10.2)。製造業・非製造業別にみると、製造業は「鉄鋼・金属」、「電気機械」、「繊維品」、「一般機械等」などの改善見通しを受け、全体でも改善見通しとなった(▲10.3→0.6)。非製造業は卸売業や小売業などの改善見通しを受け、全体でも改善する見通しとなった(▲1.2→10.9)。

また、'24年度の設備投資(実績・計画)は、全産業で同7.2%減の見通しとなったものの、高めの水準となっている。

'24年度下期は、引き続き物価上昇圧力はあるものの、実質賃金がプラス基調で推移していくもとの、家計の所得環境改善による個人消費の持ち直しが期待される。また、製造業における生産活動の水準低下の状況から、内需関連業種での持ち直しのほか、一部業種でのインバウンド需要の取り込みなどが期待され、当地企業の業況は総じて緩やかなテンポでの改善が続くものと予想される。

【調査要領】

1. 調査時期
2024年8月19日～9月9日
2. 調査方法
WEBおよび郵送によるアンケート
対象先: 山陰両県の主要企業1,205先
3. 回答企業数522社(回収率43.3%)
(うち鳥取県194社、島根県328社)
(うち大企業46社、中小企業476社)

アンケート回答企業の内訳

業種	構成比(%)	業種	構成比(%)
製造業	37.4	非製造業	62.6
食料品	8.6	建設業	18.2
繊維品	1.7	卸売業	12.8
木材・木製品	2.7	小売業	10.3
パルプ・紙	1.3	うち百貨店・スーパー	2.7
窯業・土石	3.3	サービス業	21.3
鉄鋼・金属	5.4	運輸	3.6
一般機械等	3.4	情報通信	3.3
電気機械	4.8	飲食店・宿泊	2.9
輸送機械	2.9	他のサービス	11.5
その他製造	3.3	全産業	100.0

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある、以下同じ。